

《町道路上に張り出している樹木の伐採に関するお願い》

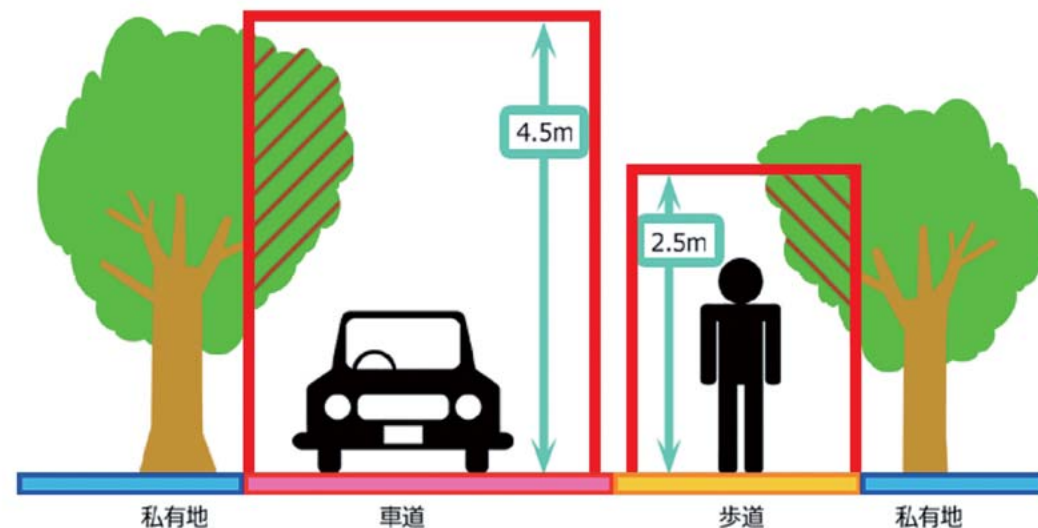
車道や歩道の一部で、庭木や生け垣、沿道の山林の樹木の張り出しにより、通行の妨げとなっている箇所が多く見受けられます。

樹木等が道路上に張り出し覆いかぶさると、通行しづらだけでなく、道路標識やカーブミラーなどが見えづらくなり、交通事故の原因にもなりかねません。

道路には、歩行者や車両が安全に通行できるように「建築限界」が定められています。

「建築限界」とは、電柱や樹木等がはみ出してはいけない道路上の空間のことを指します。

車道部分は、高さ 4.1 m から 4.5 m、歩道の場合は高さ 2.5 m。この空間に樹木がはみ出している場合は、建築限界を犯している可能性があります。



張り出した樹木の枝の落下や倒木により通行車両が損傷する事故等が発生した場合は、**法律により所有者が賠償責任を問われることもあります。**

私有地から道路上に張り出している樹木等は土地所有者に所有権があり、**町が無断で伐採することはできません。**

所有者において、定期的に伐採・枝払い等を行うなど適切に管理を行っていただきますようお願いいたします。

《伐採等の作業における注意点》

- ◎ 電線や電話線がある箇所の伐採作業については、危険が伴う場合がありますので、九州電力またはN T Tに事前にご相談ください。
- ◎ 伐採作業時は、通行車両や歩行者の安全確保と立木からの転落に注意して作業を行ってください。

《緊急時の対応》

- ◎ 倒木が道路を塞いでいる場合等の緊急時は、予告なく町で伐採する場合があります。この際は、伐採した木は町で処理せず、交通の邪魔にならないように道路脇に寄せて置く等の対応を行う場合がありますのでご理解をお願いします。

問い合わせ先 建設課 維持管理係 ☎ 72-1145

まちの話題

浜美荘でお点前披露

8月28日、浜美荘で矢部高校茶道部・山都町小学校茶道教室、講師の橋本早苗先生によるお茶のお点前披露が行われました。

高校生の凛としたお点前に入所者の皆さんは真剣に見入っていました。高校生が点てたお茶を、茶道教室の子供たちが「召し上がり下さい。」と運ぶと、入所者の方々は「ありがとう。美味しいお茶をいただいて元気が出ました。」と嬉しそうな様子でした。また入所者の皆さんも先生方に習いながら点茶体験をしました。



浜美荘の入所者へ美しいお花の贈り物

9月11日、JA上益城の山都町花卉部会の皆さんが、敬老の日にちなんだ入所者の皆さんへ山都町産の美しい花を贈呈されました。入所者の皆さんは「美しい花を見て、気持ちが和らぎます。元気が出ました。」と花を觀賞していました。

9月14日には、上司尾婦人部の皆さんが浜美荘を訪れ、「いつまでも元気で過ごして下さい。」との暖かい言葉と共に、贈り物を届けられました。入所者の方は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます。」と大変喜んでおられました。



私の一枚



タイトル：フィナーレ
撮影者：赤星 喜十郎
撮影場所：役場本庁舎前



【コメント】 宝暦7年（1757年）に執り行われた豊作祈願祭に始まる八朔祭は、260年の歴史を誇り編纂を重ねながら代々受け継がれています。今、祭りのフィナーレは花火であり、同時に秋の風を運んできます。

シャッター速度を落とし、レンズを動かしながらの撮影は、光と風の面白い姿をみせてくれます。試してください。

夏休み子ども茶道教室 発表会

8月26日、中央公民館において夏休み茶道教室閉級式及び発表会が行われました。

教育委員会では、夏休みの青少年健全育成の一環として、山都町内の小・中学生を対象に毎年茶道教室を開催しています。今年度は小学生10名が参加し、練習したお手前の成果を保護者の前で披露しました。

参加した保護者の方は、「普段は元気いっぱいな子どもが、気持ちを落ち着かせる時間を持つことができ、いい経験をさせてもらいました。来年も是非参加したいです。」と話していました。

子どもたちにとって、日本の文化である茶道を通じ、礼儀作法やおもてなしの心を学ぶ良い機会となりました。

